

どんぐり村の こみ・すく通信

令和3年12月22日発行 第20号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その14> 更小上更小5、6年生が小々連携で 「さらべつほーぷ」から学ぶ

12月15日、上更別小学校の高学年が更別小学校に集合。さらべつほーぷから6名のメンバーが来校し、それぞれの学年の子どもたちに授業をしてくださいました。

5年生「個性(自分らしさ)を知る、尊重する」

授業者は小林先生
(更別農業高校)



まんが「ドラえもん」に出てくる「のび太くんはどんな人?」という発問に始まり、次に「わたしはこんな人です」「自分の好きなこと、得意なこと」から、それぞれの個性を知り、認め合うことの大切さを学びました。まとめは絵本を読んでもらいました。

6年生「もうすぐ中学生 目標をもって前向きに」

あと3か月半で中学生になる6年生に、中学校と小学校の違い、具体的な目標をもつことによって、その達成のための取組が成長や自信につながることを教えてもらいました。また、結果を前向きにとらえ、自分のよい所を認める前向きな自己会話についても学びました。

自分にどんな前向き
の言葉をかけるか?



どんぐり村子ども会議開催

12月10日に、村内小中学校三校の児童会・生徒会役員10名が中学校に集まり、「どんぐり村子ども会議」を開催しました。



【村内小中学校から10名の代表が集まる】

(1) アンケート結果を受けて

7月にとった「インターネット利用に関するアンケート」結果を受けて、課題だと思ふことを出してもらい、それらをまとめて次の2点の課題に絞りました。

- ①インターネット機器の使い過ぎによる様々な健康被害
- ②SNS利用によっていじめ、詐欺などのトラブルに遭遇

それらの課題を解決していくためには、次の観点で家庭でのルールづくりをお願いすることが大事だという話し合いになりました。勿論子どもたち自身もしっかりと考えていくことになります。

- ・家庭での使用時間、場所のルールを決める。
- ・知り合い以外の人とSNSでの関係をつくらない。など

(2) いじめ根絶に向けた取組

「いじめ根絶に向けた村内小中学校の取組」の交流を行った後、グループに分かれ「どうしていじめは起きてしまうのか、そうならないためにどうしたらよいのか」についても熟議しました。

いじめが起きないようにするために

相手の気持ちを考え、自分がされたら嫌なことはしない。全校で楽しめることをする。みんなで話し合う。

昨年採択された「更別村いじめをなくそう宣言」の「相手の気持ちを考え、助け合って生活します」の部分を重点的に意識し行動していくことが確認されました。

どんぐり村子ども会議の内容は、2月の村民集会で代表の中学生から発表する予定です。